

2006 年度

科目名 中国文学史 A	対象学科・学年 文学部日文 3 回生	担当者 森 博行
授業テーマ 中国の古典詩に現れた「夕日」と「芳草」の歴史		
授業の概要と目標 中国文学史は広義の意味で、殷代の甲骨文（紀元前千数百年）から現在の紀元後二千年までの長期にわたって連綿と続いているが、この授業は、中国文学史の流れを大まかに概説した後、特に古典詩に現れた「夕日」と「芳草」の歴史、及び北宋時代の邵雍という特異な人物の詩を取り上げて解説する。		
評価方法 出席態度とレポート		
テキスト ○ 『夕日と芳草』 ○ プリント配布	著者 森 博行	出版社 現代図書（教室で販売）
参考書 特になし	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 ガイダンス 2 先秦時代から六朝時代の文学 3 唐代の文学 4 宋代の文学 5 元・金時代の文学 6 明・清時代の文学 7 『詩経』における「夕日」（前）（『夕日と芳草』第一編第二章） 8 『詩経』における「夕日」（後）（『夕日と芳草』第一編第三章） 9 魏・晋代における「夕日」（『夕日と芳草』第一編第一章） 10 魏・晋代における「夕日」（続）（『夕日と芳草』第一編第一章） 11 碧草と緑草（『夕日と芳草』第二編第一章） 12 晩唐・五代における「芳草」（『夕日と芳草』第二編第二章） 13 晩唐・五代における「芳草」（続）（『夕日と芳草』第二編第二章） 14 崔顥と徐鉉の詩における「芳草」（『夕日と芳草』第二編第三章） 15 まとめ		